

加東市の溜池の名称と地域のイメージ

島津 雄太郎

キーワード：溜池, 名称, 地域イメージ, 加東市

1. はじめに

本研究の目的は、古くから日本の生活に深くかかわっている溜池と人々の生活と関連性の高い地名が合わさった溜池の名称との関係について考えることである。溜池の名称を分類し比較・検討を行い、溜池の名称からその地域の特色や雰囲気といった地域のイメージを検討する。

地名とは、個人の内面のみで特定の地域を指すために使われるものではなく、複数の人間関係の中で何らかの意味を持ち、多くの人々に認知され、承認されたものが地名として使われる。「軽井沢」と聞けばそれだけで高級な別荘地であると連想するように、人々が地名から受けるイメージは大きいといえる。

溜池は稲作の広まりとともに発達していった。現在日本には20万箇所以上の溜池が分布しており、兵庫県はそのうち4万箇所がある。

本研究を行うにあたり、対象地域として兵庫県の加東市を取り上げる。まず、加東市の地誌を作成し、客観的にみた加東市の全体像についてまとめる。次に加東市の溜池の概要を『ため池台帳』（東播用水土地改良区、2001）の項目ごとに検討を行い、加東市の溜池の特徴について検討する。分類の方法は、溜池の名称に含まれている要素を7つの項目に分類する。分類したものはそれぞれの項目ごとに検討を行う。分類をもとに加東市にある溜池の名称にはどのような傾向にあるのかを検討する。分類した、種類がどの場所に多いのか、集まっている箇所はどこなのか、その分布についても考える。分布についても検討を行い、グループごとの特色を考える。これらの検討から加東市の溜池の名称の特徴などを考え、そこから加東市の地域のイメージについて検討する。

2. 加東市の地誌

(1) 概要

加東市は兵庫県の中央部の南寄り、播磨平野の北東に位置している。東には篠山市と三田市があり、南は小野市と三木市、北は西脇市、西は加西市と隣接している。加東市を緯度経度で表すと北緯34度55分東経134度58分に位置する。

加東市の総面積は157.49 km²である。2006年3月20日に社町、滝野町、東条町の3町が合併して新たに設けられた。2014年の人口は39,974人である

(2) 自然環境

加東市の地形は、大まかにみて中国自動車道を基準にして北部と南部で分けることができる。北部は比較的標高が高く、標高が500mを超える山も存在する。南部は比較的平坦な台地が続く。加古川の東には河岸段丘が広がっている。加東市の水系は加古川の本流とその支流に含まれる。加古川は県内で最も流域面積の大きい河川である。

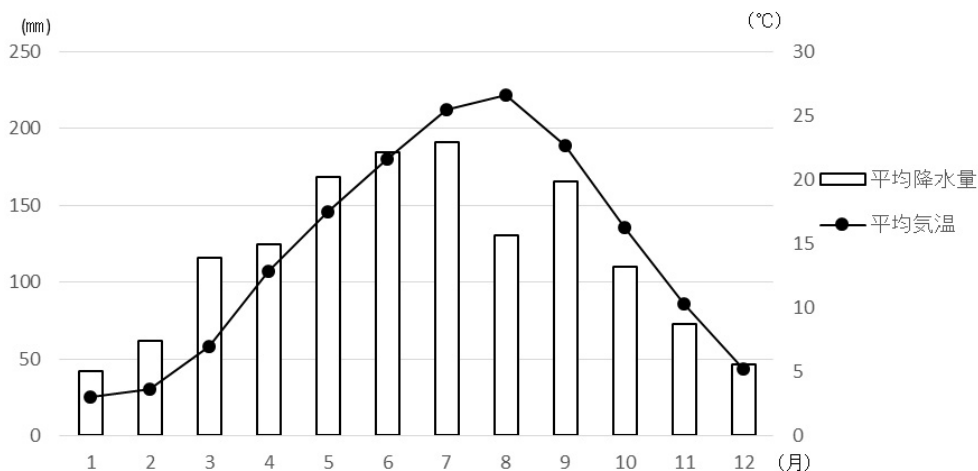


図1 加東市の雨温図

出所 アメダス 西脇観測所データ (2015年1月19日閲覧)より作成

加東市は一年を通して比較的温暖な気候で、台風や積雪による被害は少ない。平均年間降水量は図1のようになっている。8月の降水量が少なくなっており、瀬戸内海式気候の特徴がみられる。逆に、6月・7月の降水量が最も多くなっている。

(3) 産業

酒米として全国的にも知られる山田錦をはじめとする水稻栽培を中心とした農業が展開している。品目別にみると、米の総産出額は24.9億円となっており、全体の73.7%と最も多い。加東市は山田錦の栽培適地である。

3. 加東市の溜池の分類

(1) 加東市の溜池の概要

本研究で扱った溜池は、東播用土地改良区(2001)のため池台帳にある加東市域分の溜池285箇所を対象とした。加東市の溜池の分布は図2のようになる。北部には129箇所、南部には156箇所と北部よりも南部により多くの溜池が分布している。

まず、加東市の北部の溜池の特徴について考える。北部には溜池が東条川や三草川といった河川と中国自動車道に沿う形で分布している。しかし、三草山の周辺には溜池は分布していない。北側では特に堤高の高い溜池が多くみられる。堤高の10m以上のものが分布している場所は地形的見ても、山の谷の部分にある溜池が多くなっている傾向にある。また、貯水量が多い溜池が南部よりも多い割に水面積の小さい溜池が多くなっている。つまり、貯水量多く水面積の小さい溜池は水深の深い溜池ということになり、池の形態として谷池になっていると考えられる。北部は谷池が多い地域になっていると考えられる。加東市南部の溜池の特徴については、集水面積・受益面積が大きい溜池が多くなっている。また、水面積が大きい溜池が多く、貯水量の少ない溜池が多くなっているため、池の形態として平池が多くなっている。

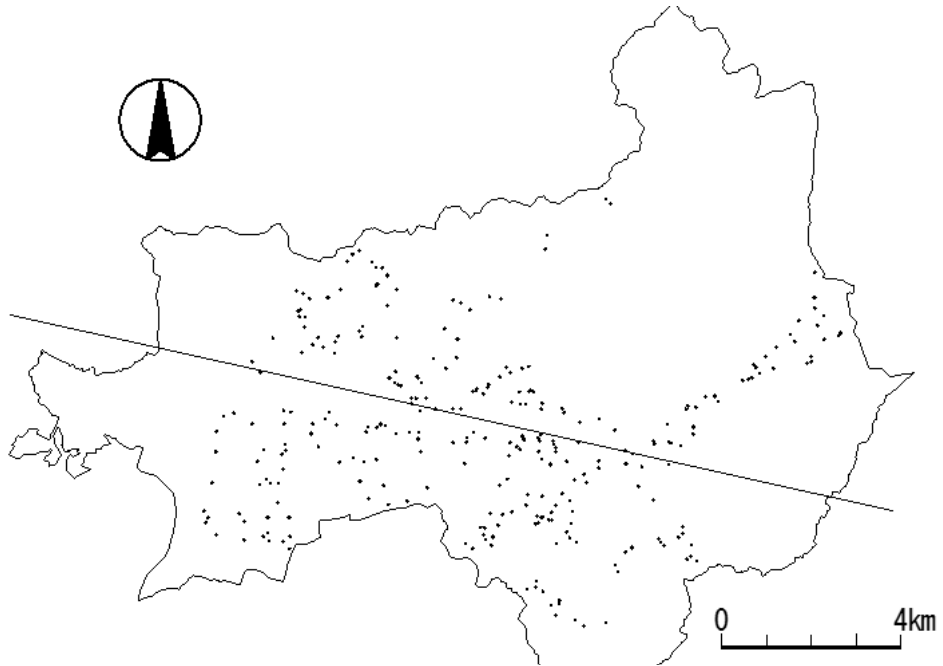


図2 加東市の溜池の分布
出所 東播用水利地改良区(2001)より筆者作成

(2) 名称からみた溜池の分類

加東市にある溜池を溜池の名称に含まれる要素を基にして表1のように7つに分類した。一つ目は溜池の名称に池の形が入っているものを形として分類する。ここには谷池や皿池などの溜池の種類が分類される。

二つ目は大きさを表す言葉の入った溜池である。たとえば大池や小池といった大きさを表す言葉がつく溜池はここに分類される。

三つ目は地名が入った溜池である。分類項目が表すように、若ヶ谷池や下り藤池といったその溜池が所在している場所の名称が名前に含まれている溜池はここに分類される。

四つ目は位置を表す言葉が使われている溜池である。ここでの位置とは4つ目に出てきた地名とは違い、その溜池の場所を表した言葉の入っているということである。例えば上池や下池、奥池や口池といった地名ではないが、その溜池の場所が示されているものである。

五つ目は時間に関する言葉の入った溜池である。ここでは、江戸池といった溜池が造られた年代がわかる言葉が入っているものや、今池・新池のような時間を表す言葉が入っている溜池が分類される。

六つ目は新池である。〇〇新池や新池といった溜池の名称に新池とつくものはここに入る

七つ目は人名である。人の名前が溜池の名称として使われているものである。人名が名称の中に含まれている溜池はその溜池を造るために尽力した人の功績をたたえるためにつけられるものである。

表1 加東市の溜池分類

No.	分類項目名	説明	例	数		
				北	南	
1	形	形を表す言葉のつく溜池	皿池 長池	90	北	38
					南	52
2	大きさ	大きさを表す言葉のつく溜池	大池 小池	16	北	5
					南	11
3	地名	その場所の地名が溜池の名称としてつかわれている溜池	若ヶ谷池 原田池	73	北	37
					南	36
4	位置	地名とは異なるが溜池の場所を表す言葉のつく溜池	奥池 上池	107	北	53
					南	54
5	時間	年号や新旧など時間を表す言葉のつく溜池	二番目池 江戸池	34	北	14
					南	20
6	新池	名称に新池がつく溜池	新池 奥新池	29	北	14
					南	15
7	人名	人名を表す言葉のつく溜池	次郎大夫池	6	北	1
					南	5

出所 筆者作成

3. 地域イメージと溜池

(1) 傾向と地域イメージ

本稿では、溜池の形が名称に含まれるものについてのみ述べる。

溜池の名称に形が入っているものは、加東市に90箇所ある。皿池が名称につく溜池は11箇所存在する。皿池が溜池の名称につくもののうち、8箇所の名称が「皿池」であった。それ以外の溜池は皿池下と皿池上の2箇所が名称に位置がつく溜池、1箇所は大池（皿池）であった。溜池の名称に谷のつく溜池は73箇所ある。谷が溜池の名称につくもののうち大半が〇〇谷といった地名に谷が含まれているものであった。そのため、池の形態から溜池の名称として「谷池」をつけたものは少ないと考えられる。

(2) 位置関係と地域イメージ

溜池の名称に形が含まれるものについて考える。加東市全体でみると90箇所が該当する。これらの溜池は加東市の中央に行くと多くなり、市の境界線に近づくとき少なくなる傾向がある。中国自動車道の周辺に最も多く分布している。形が名前に入っているもののうち北部にあるものは37箇所、南部にあるものは53箇所になっている。北部の皿池は5箇所のみ分布している。残りの皿池の6箇所については南部に分布している。谷がつく溜池は北部に33箇所、北部に44箇所分布している。溜池の名称に皿池がついている割合が若干南部のほうが高くなっている。したがって、溜池の名称に形がつくものの比較では、加東市の北部は平地よりも山の多い地形であり、南部が山よりも平地が多い地形になっていると考えられる。

4. おわりに

本研究では、加東市を南北に分けてそれぞれの分類項目についての検討を行った。その結果、加東市の溜池の名称の特徴として、形の分類で名称に皿池や谷池が含まれる溜池の分布をみると、南部では皿池が溜池の名称に含まれる割合が高く、北部では谷池が溜池の名称に含まれる割合が高くなっていることが明らかになった。また、北部には堤高が10m以上の溜池が多い。そして、貯水量が多く水面積が小さい溜池が多く、谷池が分布していることがわかった。逆に、南部では堤高の低い溜池が多く、水面積が広い溜池が多く分布しているため、皿池が多くなっていることがわかった。

形の分類から見ると、北部のイメージは山、南部の地域イメージは平地である。北部では、谷が含まれる溜池の名称が多く山をイメージすることができる。南部では、皿池を含む溜池の名称が多く、水面積の割に貯水量が多くない溜池も多いため、平地をイメージできる。

本研究では、溜池の名称にはその地域の様子が現れるものであり、溜池の名称から地域のイメージが関わりのあるものであることがわかった。

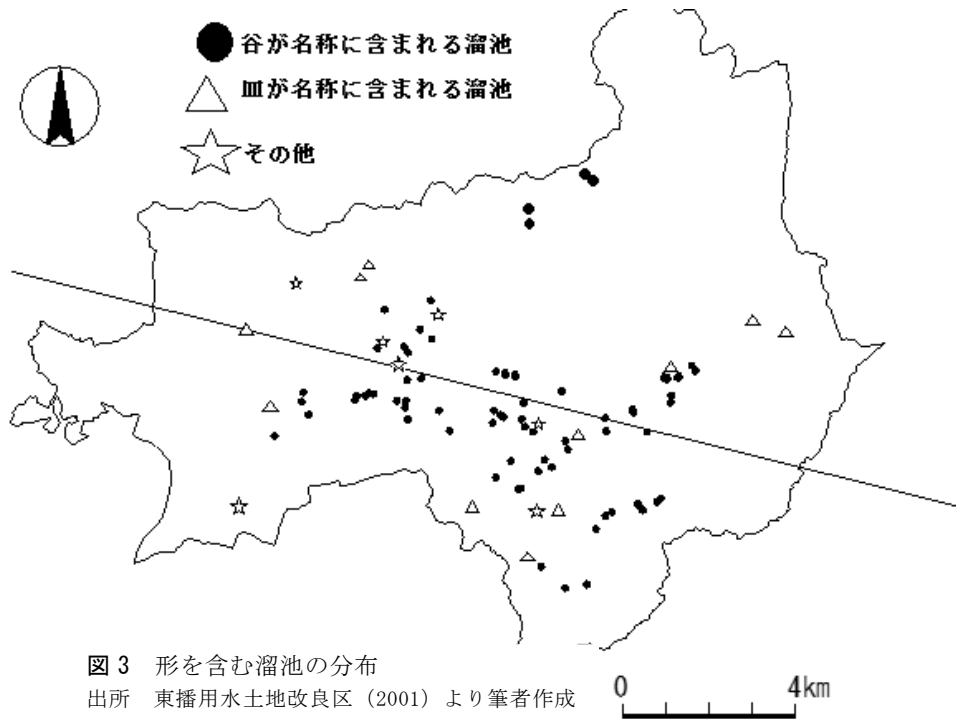


図3 形を含む溜池の分布
出所 東播用土地改良区（2001）より筆者作成

参考文献

- 滝野町史編纂委員会編（1988）：『滝野町史』，加古川流域滝野歴史民俗資料館
 東条町史編纂委員会編（1995）：『東条町史』，兵庫県加東郡東条町
 東播用土地改良区（2001）『兵庫県東播用土地改良区50年史』，兵庫県東播用土地改良区
 社町史編纂室編（2007）：『社町史第一巻 本編Ⅰ』，加東市
 社町史編纂室編（2007）：『社町史第二巻 本編Ⅱ』，加東市

Relationship of regional image and name of tanks in Kato SHIMAZU Yutaro

Key Words: Kato, tanks, name, regional image